

新年度の 主要事業



主な事業を、各部ごとに紹介します。

総合政策部

●「オールふじみ野」未来政策会議

本年度は、市報を活用した市の魅力の発信と、とりまとめの冊子の制作を行い、市をPRします。

●子ども議会事業

子どもたちに市政に対する関心と理解を深めていただき、子どもたちの意見・要望を今後の市政運営の参考とする「子ども議会」を実施します。

●タウンミーティングの継続実施

市民の皆さんの声を直接聞き、政策に反映させるほか、情報発信の場として「タウンミーティング」を実施します。

総務部

●振り込め詐欺被害防止のための機器購入費補助

多発する振り込め詐欺被害を防ぐため、自動アナウンスや録音機

能を有する対策機器の購入費を補助します。

●地域防災力の向上に向けた支援事業

自主防災組織を対象とした講習会の実施、資機材の充実や活動支援のための補助を行い、地域防災力の向上を図ります。

●防災倉庫の更新および防災設備の充実

地域防災拠点に設置された防災倉庫の老朽化に伴う建て替えと、災害用トイレを順次配備し、防災設備を充実・強化します。

●防災訓練の実施

市内全20カ所に避難所を開設する防災訓練を実施し、市と市民の防災対策の強化を図ります。



●コンビニ収納の拡充

指定コンビニエンスストアで、介護保険料と後期高齢者医療保険料を納付できるよう拡充します。

市民生活部

●窓口業務委託の実施

市民課、出張所、保険・年金課の窓口業務委託を併せて実施し、連携の取れた対応など窓口サービスの向上を図ります。

●総合的な相談窓口の充実

日常生活のトラブルや悩みごと・DV・生活困窮などに関する専門家による各種専門相談を行うとともに、関係部署との連携を図り、問題解決を迅速に行うため、総合相談窓口としての役割を充実します。

市民活動推進部

●自治組織などの活動支援

自治組織の活動や集会所の維持管理に補助を行います。本年度は自治組織が管理するLED防犯灯の電気料金に対する補助を開始します。



●文化施設整備の推進

新たな文化施設基本構想・基本計画の方針に基づき、老朽化した文化施設の整備を計画的に進め、明るく使いやすい施設にリニューアルします。

●文化芸術振興未来応援事業

市の文化振興に寄与する市民の自主的・創造的な活動を対象とする助成制度を導入し、市の文化芸術活動の活性化を進めます。

●文化芸術に親しむ機会の提供と文化的な魅力の発信

子どもの頃から文化芸術に親しむ機会として、地域協働学校などと連携しアウトリーチ事業を推進します。また、アートフェスタを充実させ、市の文化的な魅力の発信・発信を進めます。



総合政策部

●「オールふじみ野」未来政策会議

本年度は、市報を活用した市の魅力の発信と、とりまとめの冊子の制作を行い、市をPRします。

●子ども議会事業

子どもたちに市政に対する関心と理解を深めていただき、子どもたちの意見・要望を今後の市政運営の参考とする「子ども議会」を実施します。

●タウンミーティングの継続実施

市民の皆さんの声を直接聞き、政策に反映させるほか、情報発信の場として「タウンミーティング」を実施します。

総務部

●振り込め詐欺被害防止のための機器購入費補助

多発する振り込め詐欺被害を防ぐため、自動アナウンスや録音機

●各種スポーツ講座およびラジ体操の普及

スポーツの普及に向けた事業を実施するほか「元氣・健康都市宣言」の実現に向けラジ体操の普及を図ります。



●ごみ分別アプリ外国語版の構築

5カ国語対応アプリを構築し、ごみ分別をより一層推進します。



ごみ分別アプリ（日本語版）

能を有する対策機器の購入費を補助します。

●地域防災力の向上に向けた支援事業

自主防災組織を対象とした講習会の実施、資機材の充実や活動支援のための補助を行い、地域防災力の向上を図ります。

●防災倉庫の更新および防災設備の充実

地域防災拠点に設置された防災倉庫の老朽化に伴う建て替えと、災害用トイレを順次配備し、防災設備を充実・強化します。

●防災訓練の実施

市内全20カ所に避難所を開設する防災訓練を実施し、市と市民の防災対策の強化を図ります。



●コンビニ収納の拡充

指定コンビニエンスストアで、介護保険料と後期高齢者医療保険料を納付できるよう拡充します。

●環境学習などの実施

環境学習館えこらぼで、環境センター見学会や環境学習講座を実施します。



●農業生産改善事業

認定農業者や農業者組織に対し、機械購入や農業施設の整備に係る経費を補助します。

●商工業の振興推進

空き店舗対策や創業支援など、複合的な支援を実施します。

●企業誘致推進事業

企業誘致の促進や企業支援を実施し、地域経済の活性化および雇用の促進・安定の実現を目指します。

福祉部

● 法人後見事業

成年後見制度の利用促進を図るため、体制整備に取り組みます。

● 生活困窮者等の支援事業

生活困窮者の支援や複合的な問題解決に向けた連携体制の強化を図ります。

● 子どもの学習・生活支援事業

生活困窮世帯などの中高生などを対象に、学習支援を実施するとともに、生活に関わる支援を進めます。

● 地域力強化推進事業

住民に身近な地域で、地域課題に関する相談を受け止める体制を整備し、地域住民が地域課題を把握し、解決に向けて地域で支え合う環境づくりを進めます。

● 障がい者就労等支援事業

障がいのある人の就労定着の促進・一般就労支援を強化します。また、就労機会や訓練の充実を図るための賃借料などを助成します。

● お出かけサポートタクシー事業

障がいのある人や高齢者、妊産婦などを対象に、タクシー利用料金の一部を助成し、外出するための交通手段を確保します。

● 高齢者福祉施設に対する整備費補助

入所希望者が多い認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）の整備に対する補助を行います。

● 一般介護予防事業

本年度から、介護予防センターを拠点に、介護予防・地域活動のサポート・多世代地域交流事業を実施し、市民の福祉の増進および福祉意識の高揚を図ります。また、大井総合福祉センターにおいても予防教室を実施します。



都市政策部

● 路面標示修繕および自転車通行空間路面標示設置工事

経年劣化した路面標示を修繕します。また、自転車通行空間を整備し、安全性向上を図ります。

● 上福岡駅東口駅前広場の整備

暫定整備となっている上福岡駅東口駅前広場に駅につながる歩道橋を整備し、安全性と利便性を高めます。



整備イメージ

● 上沢勝瀬通り線の整備

通学児童の安全確保とふじみ野駅へのアクセス向上を図るため、苗間地区内の都市計画道路上沢勝瀬通り線の整備を進めます。

● 国道254号バイパスふじみ野地区の整備

国道254号バイパスふじみ野地区を対象とした産業団地の創出に向け、関係機関との協議や行政手続きを行います。



整備予定地

● 運動公園、第2運動公園の整備および有料公園施設の管理・運営

運動公園の拡張部分および第2運動公園多目的球場などを整備します。



● 空き家などの発生の予防、適切な管理および活用の促進

空き家の調査や条例の制定、総合的な対策計画の策定などさまざまな取り組みにより、空き家の発生予防や適正管理・活用促進を図ります。

こども・元気健康部

● 子育て世代包括支援センターの充実

母子保健や育児に関するさまざまな悩みなどに専門的な見地から相談支援などを実施し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施します。



● 放課後児童クラブの運営

放課後児童支援員の充実を図ります。また、本年度は第3上野台放課後児童クラブの工事、西放課後児童クラブの移設工事、鶴ヶ丘放課後児童クラブの設計を行います。

● 認可保育園の運営委託・補助の実施

民間保育園の運営などに補助を行い、健全運営と質の高い保育の提供や多様な子育て支援を支えます。本年度は1園の改修工事を補助します。

● 市道空洞調査事業

陥没事故を防止するため、緊急輸送道路や主要な市道、埋設管が敷設されてから経年劣化している恐れがある市道の路面下空洞を調査し、市が管理する道路の安全確保に努めます。

● 市道E-177号線の狭い対策

市道E-177号線の道路拡幅のため物件調査業務を行い、大井中学校前の歩道を整備します。

● 江川流域都市下水路の復旧事業

平成29年10月に発生した台風第21号の影響により被害のあった、江川流域都市下水路に隣接する市道H-36号線を復旧します。

教育部

● 小学校施設の大規模改造

老朽化した校舎を改修するため、計画的に大規模改造を行います。本年度は駒西小学校（2年目）と西小学校（1年目）の工事、さぎの森小学校の設計を実施します。

● 産前・産後サポート事業および産後ケア事業

産後うつ予防のため、母親同士の交流の場を提供し、育児不安や孤立感の解消を図ります。また、必要があると認められた人には医療機関に宿泊してもらい、産後ケアを行います。



● 不妊・不育症検査および不妊治療費に対する助成

夫婦に対し、不妊・不育症検査および不妊治療の費用を助成します。

● 各種がん検診の充実

各種がん検診を実施し、がんの早期発見・治療を推進します。また、本年度より乳がん個別検診無料クーポンを導入し、受診率向上を図ります。

● 元気・健康マイレージおよび食育推進の実施

市民の健康づくり推進のため、元気・健康マイレージ、食育推進事業などを実施します。

● 外国語やICT教育の推進

外国語による表現力・コミュニケーション能力を育成します。また、ICTを活用した情報教育を推進します。

● 地域協働学校の推進

地域連携・協働の推進により、地域の教育力を活用した教育活動を推進します。本年度は新たに12校に学校運営協議会を設置します。

● 特別支援学級の設置による介助員の配置

本年度は5学級を新たに設置し、特別支援学級等介助員を配置します。

● 学び育ちサポーターの配置による学校教育支援

生徒指導支援員といじめ等対応支援員を統合し、学び育ちサポーターとして各小・中学校に配置します。

● 教育相談環境の充実

市内の小・中学校に通う児童生徒や保護者を対象に、教育や子育てに関する相談に応じています。本年度は専門性の高い教育心理相談員を増員し、児童生徒の健やかな成長を支援します。

新年度の主要事業

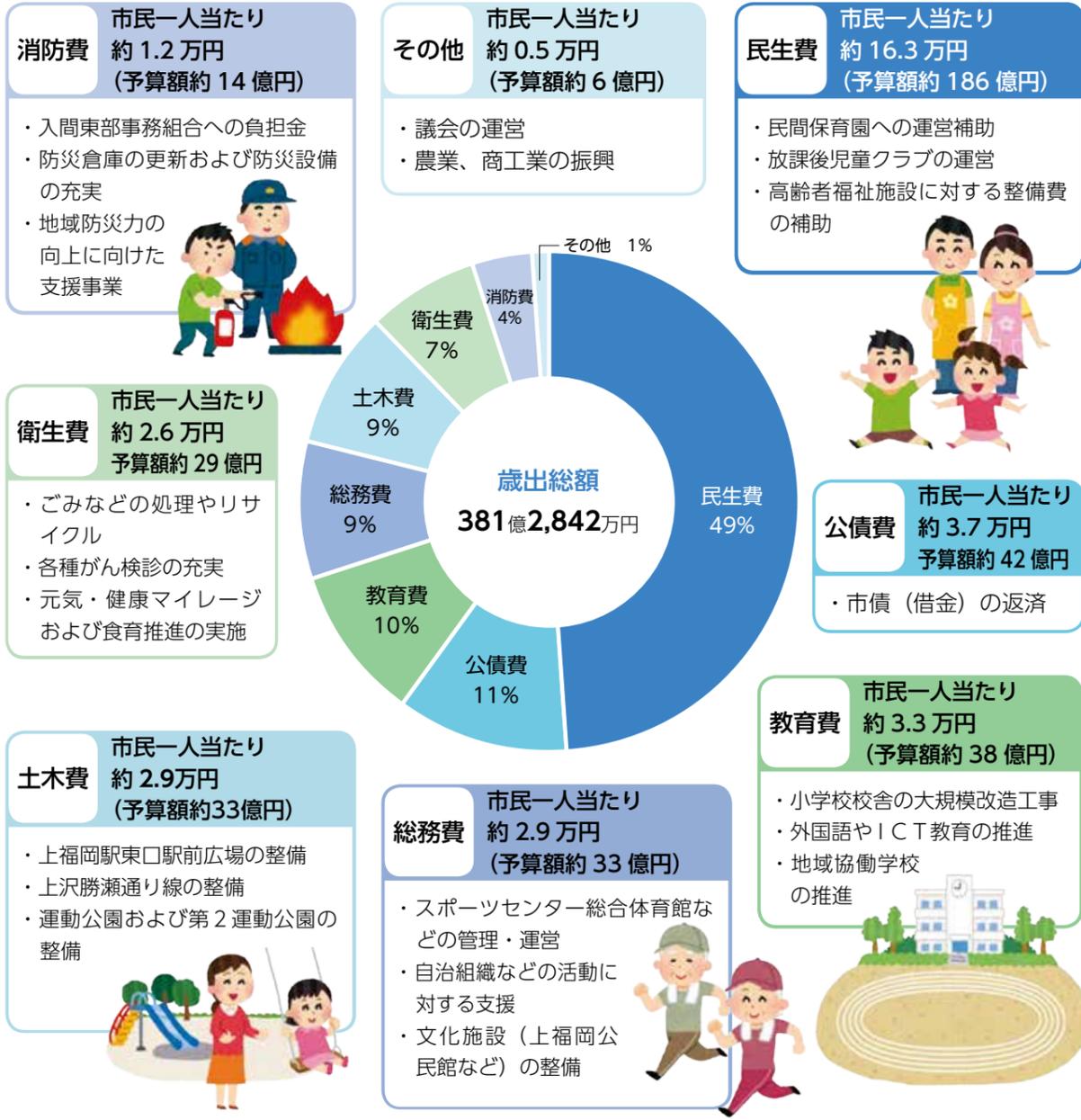
ふじみ野市の新年度予算が決定しました

歳出

一般会計歳出 ふじみ野市全体
381億2,842万円



一般会計歳出 市民一人当たり
約33万4千円



歳入

皆さんが納めているこれらのお金が市の収入になっています。

一般会計

- ・市税
- ・保育所などの利用料
- ・学校給食費
- ・公共施設などの使用料
- ・証明書発行手数料 など

特別会計

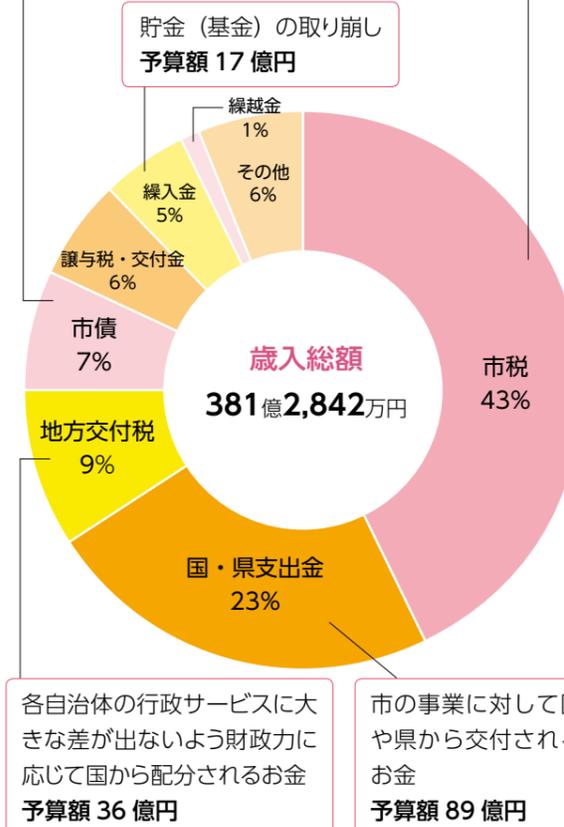
- ・国民健康保険税
- ・後期高齢者医療保険料
- ・介護保険料 など

企業会計

- ・上・下水道使用料 など

公共施設や道路などを作るときに、国や金融機関などから借り入れるお金
予算額 27億円

皆さんに納めていただく税金
予算額 163億
市民一人当たり約14.3万円



市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分かれています。

一般会計は、市民生活全般にわたる仕事を行うために必要な経費やそのための収入を管理する会計で、市の会計の基本です。本年度の当初予算額は381億2,842万円で、前年度と比較して22億8,830万9千円(5.7%)の減額となりました。

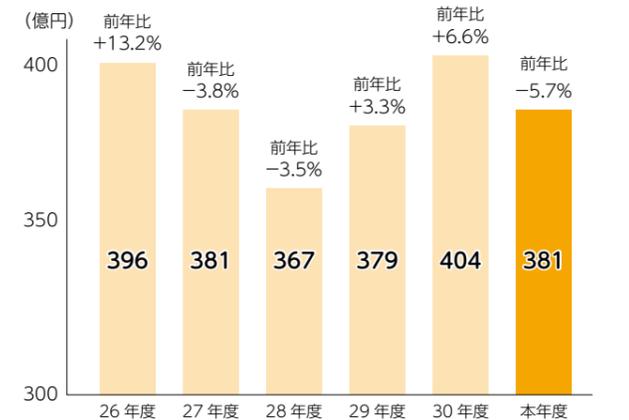
また、特別会計と企業会計は、特定の事業を特定の収入によって行うため、独立した会計を設けて管理を行います。

図 財政課 (TEL 262・9004)

■ 新年度の予算総額

会計	予算額 (前年度比)
一般会計	381億2,842万1千円(-5.7%)
特別会計	187億2,844万5千円(+1.5%)
国民健康保険	98億602万円(-4.6%)
介護保険	76億1,255万4千円(+10.1%)
後期高齢者医療事業	13億987万1千円(+4.2%)
企業会計	46億4,159万7千円(+4.0%)
水道事業	24億6,783万7千円(+4.3%)
下水道事業	21億7,376万円(+3.7%)
予算総額	614億9,846万3千円(-2.9%)

■ 一般会計予算額の推移 (当初比較)



※平成30年度と比較し、地域振興基金造成完了に伴う積立金の減額や、上野台小学校増築教室棟や弓道場の建設完了に伴う普通建設事業費の減額などが減額の主な要因です。